

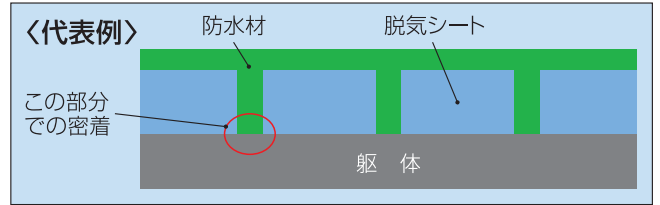
ジェットスプレー防水システムとは…

例えば500m²の陸屋根を改修工事する場合、JSシステム工法を採用すると、1日で下地処理からトップコートま仕上げで完成させることも可能です。

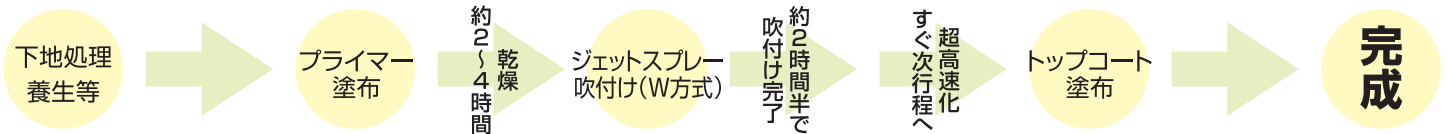
■従来の工法



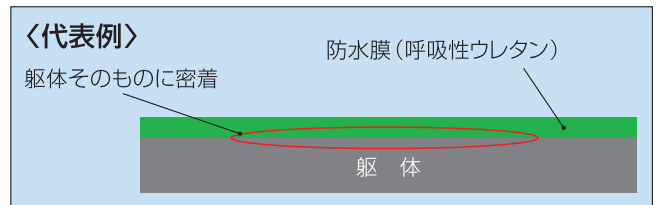
- 防水材の硬化に時間がかかり、脱気シートや脱気筒の処理に非常に手間がかかる。また、ハケやローラー塗りのため、大きな面積を施工する場合には多くの人員が必要。
- 脱気シートが必要不可欠なため、防水材自体は脱気シートに開けられた穴の部分でのみ下地と密着している「準密着」にしかならない。
- 現実的には1およそ6～10人程度の作業員を使い、養生期間等を含めると平均4日以上はかかる工事となる。



■ジェットスプレー工法



- 防水材の硬化が早いいため、最低限の作業人数で施工が可能。また、このマシンによって作り出される「呼吸性ウレタン」の高性能は脱気シートや脱気筒を不要とし、防水層が全面下地と密着している「完全密着」となり、防水性能及び躯体身体強化に対する効果も驚くほど高い。



JSシステム工法

超高性能防水システムをレンタル!



JSシステム工法はジェットスプレー工法の高い施工性を究極にまで高めた画期的な商品です。車両に全自動コンピュータと材料供給用大型タンクを搭載し、2本のホースを同時に稼働させることを可能としました。

■抜群の作業性

ダブル吹付け方式の実現により、1時間で約200m²の施工が可能。また、予め材料をタンクに注入(最大1200ℓ)しておけば、車両を移動させながら施行することが可能なため、従来のように材料をつぎ足しながら作業をする必要がありません。

■環境にも優しい

材料はドラム缶対応のため、空き缶の発生を低減し、廃材を大幅に削減することができます。

■最小限のマンパワーで最大限の施工

材料の供給量や温度管理はすべてコンピュータ制御。また、空き缶等の処理に時間を費やすことなく防水施工そのものに徹することができます。従来のような作業員数は必要ありません。

ジェットスプレーシステム車 【特開 2005-9143】



システム車仕様

構造	4t 車輛搭載型 高さ298cm 長さ620cm 幅222cm
発電機	50Hz:出力20KVA/三相200V/単相100V
コンプレッサー	空気量:1.4m ³ /min
エアドライヤー	50Hz:処理空気量1.5m ³ /min
操作盤	発電機:コンプレッサー・エアドライヤー以外の機器抑制
メインタンク容量	主剤:600ℓ 硬化剤:600ℓ
液送ポンプ	操作盤制御式 ダイアフラムポンプ
ヒーター	操作盤制御式 温度設定:手動ダイヤル設定式
保温タンク容量	主剤:65ℓ 硬化剤:65ℓ
供給タンク	操作盤制御式 ダイアフラムポンプ
混合タンク	100:100 温度設定:手動ダイヤル設定式
標準吐出量	3ℓ/min (2液あたり)

【施工能力 1,000~1,200m²/日】